



第67号

2021年5月6日発行

発行所

社会福祉法人日本キリスト教奉仕団
障がい者総合福祉施設アガペセンター
〒252-0002 座間市小松原 2-10-14
TEL 046-254-7111 FAX 046-255-2915

ホームページアドレス

<http://www.agape-jcws.com>

私を育ててくれた街 月島

アガペセンター長

田中 誠一

今号の発行にあたり、アガペ広報委員会から、「ひと時でもコロナを忘れるような内容」との原稿依頼を受け、幾つかのテーマの中に「私の人柄について」というタイトルがありましたので、今回は私の出生地の思い出を書かせていただきます、私のことを少しでも知っていただければと思います。

今でこそ、銀座や新橋のクラブ、高級料亭などで働く人から人気の高い地域である、中央区月島にて三人兄弟の第一子長男として生まれました。小学生までの十二年間を過ごした思い出のある街が月島です。

月島は一八九二(明治二十五)年に日本でも早く、東京湾にある浅瀬の土砂を利用して埋め立てられ、隅田川や運河周辺には町工場や倉庫とともに木造住宅が密集した地域でした。下町の特徴として地域



のことは地域で助け合う土壌が強く、隣近所のおばさん・おじさん達から日々怒られたり、黒っぽいちり紙に包まれた飴玉やコンペイトウをいただき、心暖かく口を膨らませていました。

また、家の前にあつた小さな製鉄工場には今でいう昔ながらの『梅干し』がいつも工場の正面に置かれており、働いているお兄さんから「好きに食べていいよ。」と言われ、学校帰りに毎日ご馳走になっていました。『梅干し』が置いてあるのが分かったのは、かなり経ってからでした。

月島という言葉から誰もが連想されるのが「もんじゃ」だと思えます。隅田川に架かる勝鬃橋を渡り左手にある商店街、月島西仲通り商店街(別名もんじゃストリート)には七十軒以上のお好み焼き(もんじゃ)屋が軒を連ねています。私の少年期には、お好み焼き(もんじゃ)屋は数件しかなく、食品や衣類などの商店街で



した。路地裏にある駄菓子屋で子どもたちがもんじゃ(小麦粉に刻みキヤベツが入った)を食べており、もんじゃは月島のソウルフードです。月島とともに埋め立てられた晴海地区は、東京湾内の外国航路の埠頭として旅客や貨物の往来で賑わっている。今では東京湾のナイトスポットとして東京湾大花火大会の場であり、

人気の場所となつていそうです。私の少年期には、国際展示場やスケートリンク、国内外の貨物船埠頭として、日本の南極観測船宗谷(現在のし



右が私です

らせ)の基地でもありましたが、まだまだ空き地が多く、バットとグローブを持つて野球を楽しんでいました。

今でこそ、地下鉄東京メトロ有楽町線と都営大江戸線の月島駅があります。私が住んでいたころは、都営の路面電車で築地、銀座を通り山手線の有楽町駅に出る方法しかなく、モーターリゼーションの到来とともに路面電車が廃止となり、都営バスの活用となりました。

今回のテーマを機会に、人情味あふれる月島の人達の優しさや厳しさを思い出しながら、自身の幼少期を懐かしく走馬灯のように思い浮かべることができました。この原点があつて、現在はアガペセンター長を務めさせていただいており、社会人経験はそれなりに積み重ねておりますが、いまもって未完成人のため、今後もご指導をよろしくお願いいたします。

本当は やりたかった コト



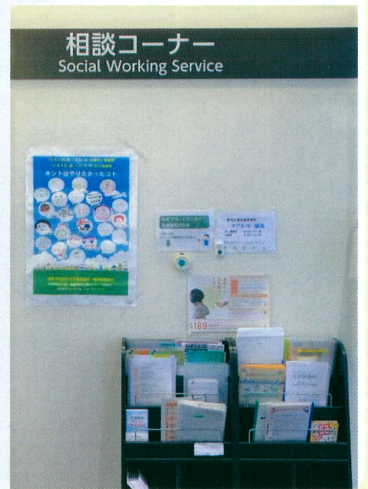
座間市障がい児・者

基幹相談支援センター
(アガベセンター総合相談室)

野村 暉

本当はやりたかったコトと言えば、何が思い浮かびますか？「おいしいものをたくさん食べたかった」、「りょうこうにいきたかった」、「月に一回カラオケに行きたかった」とか。新型コロナウイルスの流行の影響で、本当はやりたかったコトや大切なコトが浮き彫りになった気がしませんね。

昨年十二月、障がい者週間、人権週間にあわせてポスターをつくりました。座間市地域自立支援協議会権利擁護部会が主催で、私は事務局担当として携わりました。座間市内の作業所や障がい者団体に声をかけたところ、二百二十枚の声とイラスト



が集まりました。すべてを掲載するため、十パターンのポスターをつくり、協力していただいた作業所をはじめとして、市役所や病院などに掲示させていただきました。

こんな声もあります。「レトロウタガッチャウノイヤダ」「てんかん発作をなくしたい」「大学を卒業したかった」「仕事に就きたい」など。

権利擁護部会は、障がいのある方への権利侵害や虐待などの問題を話し合う場ですが、本当はやりたかったけど、かなえられなかったコトに、その糸口はある気がしています。世間一般では当たり前と思われているけれど、簡単にはいかないコトは、まわりの配慮が足りないなど、理解が得られない結果の場合もあるんじゃないかなと感じました。

二〇二〇年コロナでガマンすること、元気でいましょう、みんな「デイズニールランドやシーに楽しんでいきたい」、そんな一年に二〇二二年をしていきましょう、みんな。

カレーキッチンサラ

祝 十五周年！

アガベ作業所

課長 矢吹 智美



カレーキッチンサラは二〇二二年十一月二〇日を迎え、オープンから十五周年を迎えます。利用者さんが自分らしく働ける場として、さらには地域の「員」として、多くの人たちに支えられながら、この日を迎えられることを本當にうれしく思います。二〇〇六年の開業から、二年後にはレトルトカレーの製造・販売を開始、六年後には座間市立市民体育館（スカイアリーナ座間）内の喫茶スペースでリトルサラ運営を開始しました。利用者さんが行うことのできる作業の拡大と充実により、利用者の

皆さんが活き活きとした表情で、厨房での調理や接客業務を行うことができています。



昨年はサラ本店建物の隣に駐車スペース（四台分）を増やし、外壁の補修を行いました。

店舗内装のリニューアルも計画しており、よりお客様に快適に過ごしていただけるような空間作りを目指しています。昨今の新型コロナウイルスや、緊急事態宣言の影響を受け、来店されるお客様の数は少なくなっていますが、このような中でも足を運んでくださるお客様のために、スタッフのこまめな手指消毒のほか、消毒液やパーテーションの設置、常時換気の実施などの感染症対策を行い、安心してご来店いただけるよう取り組んでおります。

十五周年を迎える十一月には、ご来店いただいたお客様に楽しんでいただけるようなキャンペーンを予定しています。多くの皆様のご来店を、スタッフ一同笑顔で心よりお待ちしております。



接遇支援の取り組み

生活支援課

米村 祥子

今年度より、アガペ壱番館本館では「接遇支援」の取り組みを始めました。「接遇」とは「もてなし」の意味で、接客より一歩踏み込み、寄り添って関わる姿勢を指します。サービスの選択の少ない中で利用者の皆さんに「アガペ壱番館を選んでよかった」と思っていただける関わりが重要と考え、始めた取り組みです。

まずは、私たちの関わりが、利用者の皆さんにどう映っているかを知ることから始めました。日頃介助での関わりが多い十九人の利用者さんに接遇アンケートを実施しました(図①)。満足度が低かったのは⑨「威圧的、感情的な支援を受けていない」の回答でした。また、職員にも自身の接遇について振り返るセルフチェック(図②)を行い、⑨「威圧的、感情的な支援をしていない」が同じく多いことがわかりました。つまり利用者の皆さんは、職員に感情的な支援をされていると思っていて、職員も感情的な態度で利用者さんと接

してしまつ自覚があることがわかりました。

この結果から、私たちが感情のコントロールをできるようにならなくてはいけないと考え、アンガーマネジメントの研修に参加し、「イライラチェックシート」を導入しました。このシートをもとに利用者さんの人物像を掘り下げる話し合いを行っています。この取り組みは、より深く利用者さんを知り、共有することで今後イライラがあっても、その方の背景を想像して寄り添った対応ができることを目指し、職員自身が自分の怒りや感情をコントロールしていくことが目的になっています。

また、①の「無視、放置されていない」は職員としてはできていない回答が多かったのに対し、利用者さんは改善して欲しいという回答が多い結果になりました。まずは、施設内の利用者さんに安心してお待ちいただけるよう、お待たせする時間を返答することを実施しています。

今後、利用者さんのサービスを選択する幅が広がっても、接遇が良いから壱番館を選んでもらえる施設を目指していきます。

利用者アンケート 図①	はい	いいえ
①無視、放置をされていない	10	8
②意志の尊重をされている	10	6
③プライバシーの配慮をされている	11	8
④個人情報を守られている	14	5
⑤平等な支援の提供を受けている	11	7
⑥年齢や願への配慮をされている	11	7
⑦身体的虐待を受けていない	17	2
⑧心理的虐待を受けていない	11	8
⑨感情的な支援を受けていない	10	8
⑩呼び捨て、あだ名で呼ばれない	16	3
⑪指導的、不適切な言葉を使われない	13	6
⑫性的虐待を加えられたりすることはない	16	3
⑬経済的虐待を受けていない	17	2
⑭同意のない身体拘束を受けたことはない	16	3
⑮私的な関わりを求められる事はない	16	3
⑯依頼について安心して頼める	15	4
⑰分かりやすい丁寧な説明を受けている	12	6
⑱すべての支援者から同じ支援を受けている	11	8

職員セルフチェック 図②	はい	いいえ
①無視、放置をしていない	43	2
②意志の尊重をしている	45	1
③プライバシーの配慮をしている	45	1
④個人情報を守っている	45	1
⑤平等な支援の提供をしている	45	1
⑥年齢や願への配慮をしている	43	3
⑦身体的虐待をしていない	48	0
⑧心理的虐待をしていない	42	4
⑨威圧的、感情的な支援をしていない	43	3
⑩呼び捨て、あだ名で呼んでいない	45	1
⑪指導的、不適切な言葉を使わない	44	2
⑫性的虐待をしていない	48	0
⑬経済的虐待をしていない	48	0
⑭同意のない身体拘束をしていない	48	0
⑮利用者さんに私的な関わりを求めている	48	0
⑯依頼を適切に受け付けていない	43	2
⑰分かりやすい丁寧な説明をしている	43	3
⑱すべての支援者と同じ支援をしている	44	2

コロナ禍での年中活動

地域支援課

笠本 美奈子

二〇二〇年度は、新型コロナウイルス感染症防止で、外出と賑やかに行うプログラムは中止となった。そのため、遠足・電車でGO・ランチ・買い物外出・おでんで忘年会やクリスマス祝会などは実施できなくなった。利用者さんは、日々のプログラムも喜んでくださるが、職員総出で行う大プログラムも心待ちにしてくださっている。

「コロナ禍を抜け出すまでは、用心して日常を楽しんでいた」が中心となる。その中で防止策を取りながらも、プログラムを考え実施することができた。最初は、秋に外出として芹沢公園散策を行った。芹沢公園は、アガペから車で五分のところである。一〜三名の少人数の利用



者さんと車で行き、木々、花、風、香りなどの自然を楽しみながら、防空壕



を見たり、坂の高低を体感し、起伏ある景色を楽しんでいた。短時間であったが、約一年振りの外出は喜んでいただけようだった。十二月には、忘年会とクリスマス祝会を併せた企画で、「クリスマスゲーム週間」を行った。その週は毎日、ビンゴ、県名ビンゴ、ボウリング、すごろく、クイズなどの大会を行い、豪華景品で盛り上がった。賞品がかかると、利用者さんもスタッフも燃え、盛り上がったことで、「コロナに一矢報いた感じがした」。



今年は、「コロナのために今までにない状況に直面し、一つ一つ考えながら対応をし、利用者さん、ご家族に協力をいただき、日々を乗り切ることができている。大きな声で笑い合える日までも楽しみ、小さな声で何度も笑い、全員で元気にトネルを抜け出したい。」



同窓生は



佐藤 光太さん

現在のお仕事について教えてください。

私は海老名市役所の地域包括ケア推進課で仕事をしています。仕事内容は、パソコンでの入力作業や印刷、郵便物の仕分けや封筒のハンコ押しなどで、ほかにも別の課の仕事もしています。あと、高齢者の方が公民館などに集まって行う、出前講座にも行きます。

出前講座では、自分が考えたクイズを出題して答えてもらう「こうちゃんクイズ」を担当しています。クイズでは自分の好きな電車のことや、海老名市のことなどを出したりします。

仕事をして嬉しかったことは何ですか？

「一番嬉しかったことは、出前講座に参加したお年寄りの方に「楽しかったよ。」と言ってもらえたことです。

アガペで一番の思い出は何ですか？

野外バーベキューやバス旅行で浅草に行ったことです。

利用者さんに一言お願いします。

就職するまでには時間がかかると思いますが、あせらずに頑張ってください。

私たちアガペから 巣立ちました！

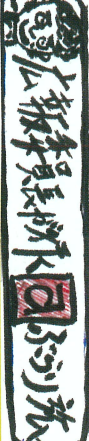
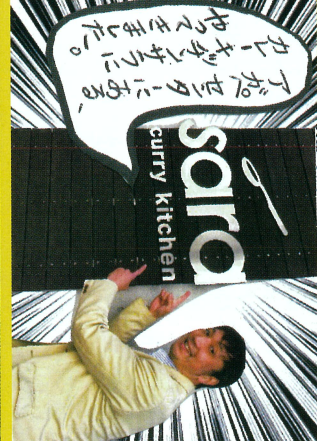
2020年度 就労実績報告

*特例子会社	印刷業務	1名
*一般企業	事務補助	1名
	ハウス栽培	1名

共に生きる

高座教会 柳澤 克彦

コロナウイルスの感染拡大で共に生きることの大切さを一層感じます。共に生きるとは自分と他の人、他のものと一緒に生きていくことです。他の人と共に生きていくには自分と違う人も受け入れなければなりません。自己中心になり他の人を排除してしまうからです。いじめの原因にもつながります。聖書は「隣人を愛しなさい」と教えています。人間は他のものと共に生きるように自然環境の中に生かされています。しかし、現状は自然環境も汚染、破壊され、動植物の命も奪われています。私たちは人間どうし、人間以外のものとの関係でも他の存在をもっと大切にして共に生きる必要があるとつくづく思います。



「支援」厚意」
感謝申しあげます。

二〇二〇年四月一日から二〇二一年三月三十一日 までのご献金分

〈献金者〉

高橋 武弘様 村山 鐵郎様
 新宮 綾子様 中塚 正彦様
 鈴木 靖弘様 中山 善夫様
 水口 建子様 中塚 紀子様
 ご指定いただいた寄付金は、アガペセンター設備等充実のため有意義に活用させていただきます。

〈寄贈者〉

小松原地区社会福祉協議会様 マスク
 高橋 武弘様 マスク、衛生用品
 コストコホールセールジャパン 株式会社様
 電池、アルミホイール、春雨、クリスマス装飾、衛生用品
 齋木 満恵様 手作りマスク
 日本キリスト教団町田教会様 野菜、米

事業完了の報告と御礼

この度、令和2年度国土交通省自動車事故対策費補助金「在宅生活支援環境整備事業」の助成を受け、南館Cリビングの入浴設備を新しくしました。座浴・寝浴ともゆったり浴槽につかることができ、利用者様の心地よい入浴時間を提供できるよう活用させていただきます。

